

歩行できない重度身体障害児の自立を支援する簡易形移動機の開発 概要

代表機関名 株式会社佐賀プラント工業

【報告書PDF 12, 222KB】

全体の概要

「身体に重度の機能障害があり自分で自分の身体を動かすことができなかつたり歩行できない場合は、抱えたりバギーに載せて介助で移動する」という考え方が一般的である。しかし、重度の身体障害があっても、身体の任意に動かすことのできる部位の入力で自立移動できる移動補助機を学齢期前から適合し練習すれば、自立心を育み、将来一般社会で共生するための社会性と心を育成できるのではないかと考えている。そこで、重度身体障害児が日常使用している姿勢保持装置に乗ったまま自身で自走できる簡易形移動装置の開発に取り組んだ。

試作した機器またはシステム 重度身体障害児のための簡易形移動機

鉄製丸パイプをロの字形に組んだフレームに木製天板を上面から固定し、駆動部を前後中心付近に配した低床型の簡易形移動機である。各種入力装置が接続可能であり、前後及び左右に旋回させることができる。面ファスナーで姿勢保持装置を固定する仕様となっているため、様々なタイプの姿勢保持装置を固定して電動化することができる。

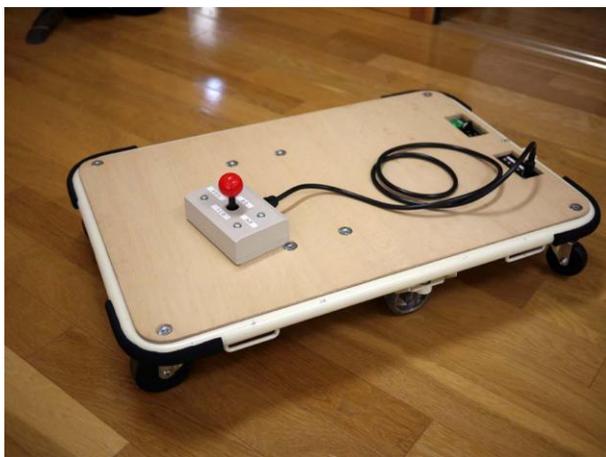


図1 開発した第2次試作機の簡易形移動機外観



図2 姿勢保持装置を固定した様子



図3 第2次試作機の駆動部分



図4 オプション天板



図5 第3次試作機